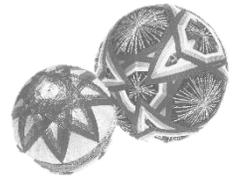




# て ま り



Technical Educational Mental Artistic & Refreshing Information

## 『 ミサイルと伝道 一語源の話 』

放送大学和歌山学習センター 客員教員  
元和歌山大学クロスカル教育機構 准教授 兵頭 俊 樹

先日ある英単語を調べていた時に「ミサイルmissile」と「伝道mission」が同じ語源を持つことを知りました。キリスト教の伝道の地でいまはミサイルが飛び交っていますが、一見なんの関係もなさそうな二つの単語にどのようなつながりがあるのでしょうか。空の道を伝えていくミサイルといったニュアンスもあるのかなと思いつつ調べてみたことをここで紹介したいと思います。

中型以上の英和辞典だと少なくともある程度の語源の記述があります。missileというのは名詞としては「飛び道具」で「飛ばすことのできる」という形容詞から派生しています。この形容詞はルネサンス期にラテン語の同じ意味の形容詞missilisの中性形から作られたものです。この形容詞はさらに遡れば「送る」という意味の動詞mittere（不定詞形）に由来します。一方missionはこれよりもやや早くラテン語の「派遣」を意味する名詞missioから作られましたが、この名詞のもとになる動詞がやはり「送る」という動詞mittereなのです。

英単語を覚えるのに語源欄は有益です。英語の2音節以上の動詞はフランス語を介してラテン語に遡るものが結構多いようですが、その際、不定詞形と並んで過去分詞形が重要です。mittereの場合はmissus（男性・単数・主格形）です。接尾辞ないし語尾を取ってしまえばmitt-とmiss-となります。ミサイルも伝道もこのmiss-という綴りを含んでいます。mit(t)-を含む英語の動詞は、1) admit, commit, emit, omit, permit, submit, transmitなどいろいろありますが、これらは全てもとの「送る」という意味を含みながら違った意味やニュアンスの動詞を生み出しています。これらに対応するラテン語の動詞を辞書の見出し語形である一人称単数現在形で示すと、2) admitto, committo, emitto, omitto, permitto, submitto, transmittoとなります。いずれも末尾の-toを除くと形の上では英語と全く同じになります。3) 送付、送還、回送、発送、返送、転送、放送などの漢字二つで作るのと似ています。和語風にすると、4) 送り付ける、送り返す、送り出す、送り届ける、送り迎えるなど。英語も漢語も和語も意味の変化や微妙な違いを感じ取ることができれば、世界も広がり語彙数も増えるのでしょうか。

上に挙げたラテン語に由来するmit-, miss-という綴りを含む動詞の他に英語には本来のゲルマン語に遡るsendという動詞が存在します。こちらは後に副詞などをつけて、5) send away, send back, send for, send off, send out, send upなどのようにして数を増やしていくのが主流のようです。同じゲルマン語に属するドイツ語で英語のsendにあたるのはsendenです。-enは不定形の接尾辞なので、実質的な語幹はsend-になります。こちらは英語のsendとは違って多くの場合、副詞・前置詞由来の接頭辞をつけて数を増やしていきます。6) absenden, aussenden, nachsenden, versenden, zusenden等があります。1)から6)までどれとどれが同じか似ているか興味のある人は辞書で調べてみてください。「送付」と「送り付ける」だけを比べてみても微妙な意味の違いはあると思いますが違いをうまく説明するのはなかなか難しい。

## 目次

P1・・・兵頭 俊樹 先生『ミサイルと伝道 一語源の話 』

P3・・・卒業生からのメッセージ

P5・・・2024年度からの授業料等の改定について/卒業要件の改正について

P6・・・パソコンを使う面接授業についてのお知らせ/大学院スケジュール/警報発表時の臨時閉所について

P7・・・単位認定試験について

P9～10・・・再試験・科目登録・継続入学について

P13～15・・・学習相談・学習会について

P16～17・・・システムWAKABA・学生証・各種変更手続きについて

P19・・・きのくに作品展・連携公開講座を開催しました

P2・・・2023年度第1学期学位記授与式

P4・・・センターの利用について/田辺教室の閉室について

P8・・・Web単位認定試験体験版について

P11～12・・・面接授業について

P18・・・証明書・学割証・エキスパートについて

P20・・・スケジュール

# ご卒業おめでとうございます

2023年度第1学期学位記授与式が  
10月1日（日）に和歌山学習センターで行われました。  
和歌山学習センターでは教養学部8名が卒業されました。





## 卒業生からのメッセージ



### 《3回目の学士コースの履修を終えて》

教養学部 社会と産業コース 中西 敏博 さん

放送大学へ科目登録し入学して早15年、最初は地元消防本部をリタイアして退職後の生きがいを模索している時、先に入学していた長男の勧めもあり私自身も司馬遼太郎の歴史大河小説が好きでどこまでが史実でどこまでが物語かなど疑問に思っていました。よしそれならば古文書解読まで行かなくても歴史の真実を勉強しようかなと一念発起したのがきっかけで、勉強すればする程「あれも知りたい、これはなんでだろう」と洞察意欲が湧いてきました。

歴史から始まった「知りたがり」は、次に宇宙の神秘に代表される自然と環境へと進み、中でも地球温暖化対策、SDGsについては我々地球人が早急に取り組まなければならない最重要課題だと痛感しました。また面接授業で印象に残っているのは「高野山学入門」「歩く百科事典－南方熊楠」「熊野の神とその信仰・歴史」など現地での合宿方式が大変有意義でした。放送授業では、マスコミのコメンテーターとしても活躍中の高橋和夫先生のイスラム教や中東湾岸地区の複雑な【宗教・民族・文化】についてがお勧めです。

和歌山学習センターでお世話になって以来学生間の交流も楽しみの一つです。月一回学生間で自主ゼミナールを開催し多種多様なテーマで時には「目から鱗が落ちる」貴重な話題も聴いたりします。

4回目の入学のコースは情報ですが、少し余裕を持って【SLOW AND STEADY】をモットーに体力・気力の続く限りロートル学生で行きたいです。

### 《卒業にあたって思うこと》

教養学部 人間と文化コース 松本 博明 さん

私は67歳で50年勤めた会社を退職した後、科目履修生として入学し、2年後に全科履修生として「人間と文化コース」に入りました。今期8年がかりで卒業することができました。この間を以下の3点について振り返ってみます。

まず1点目は入学の動機です。退職して半年ほどゆっくりしていました。そんな折、中東でイスラム国による暴動騒動が勃発し連日のテレビニュースにコメンテーターとして高橋和夫先生が出られ解説されていました。高橋先生は中東関係に博識で見解が公平ですごいなあ～と思いました。どこの先生かと肩書を見ますと「放送大学教授」とありました。この時、初めて放送大学を知ったのです。そして高橋教授の講義を受けてみたいと思ったのが入学の直接の動機です。

2点目は卒業まで続けられた要因についてです。69歳での入学であり最初は続けられるか心配でした。年々進む体力・気力・脳の老化と戦い、またこの間に母が脳梗塞で半身不随となり介護が必要となりました。こんな中、続けられたのは妻や家族の理解と応援があったのが一番です。それにもう一つ大きかったのは和歌山学習センターが存在したことです。家にこもっての勉強は中々集中し難いのですが学習センターに来れば限られた時間に集中でき、また学生仲間との意見交換や面接授業・学習会で受ける教授の直接指導の刺激、さらに職員の方々の親切な支援を受けられたことが継続の大きな要因です。皆さんに心から感謝します。

最後の3点目は今後についてです。私のモチベーションの一つに孫たちの存在が有ります。入学時孫は10歳(女)、8歳(女)でした。この孫たちより先に私が卒業するのが目標でした。今、上の孫が大学2回生なので目標は達成です。大学生の孫は「情報工学」を専攻しているのでこれに対抗しようと私も「情報コース」に再入学しました。孫に受講科目を見せたりしてお互いを刺激しながら頑張りたい。これがこれからの目標です。

# 和歌山学習センターの利用について

## ◆センターの利用について

開 所 日	火曜日 ~ 日曜日
閉 所 日	月曜日 ・ 祝休日（12月28日～1月3日）
開 所 時 間	10時 ~ 18時（電話対応も同じ）

◇センターの利用は放送大学の学生といたします。（所長の許可を得た者を除く。）

## ◎入館にあたって

- ・入館の際は「放送大学和歌山学習センター利用申込書」に記入し提出ボックスに入れてください。
- ・マスクはできるだけ着用をお願いします。
- ・近距離や対面での飲食や会話は引き続きお控えいただくとともに黙食にご協力をお願いします。

※非接触体温計（入口に設置）は適宜お使いください。  
手指の消毒アルコールについても適宜お使いください。  
発熱や倦怠感のある場合などは来所を控えてください。



## ◆客員教員による学習相談・学習会について

◇参加者は放送大学の学生といたします。日程等は、P13～15、P20に掲載しています。

- ◆閉所日や利用時間等を変更する場合は和歌山学習センターのウェブサイトと掲示板にてお知らせします。



和歌山学習センターの『利用の手引き』は和歌山学習センターのウェブサイトをご覧ください。



## 田辺教室(Big・U)の閉室について

2024年2月29日（木）をもちまして、田辺教室【和歌山県立情報交流センター（Big・U）内】を閉室させていただきます。

学生の皆さまには、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。

# 2024年度からの授業料等の改定について

2024年度第1学期から下記のとおり授業料・研究指導料が改定されます。

詳しくは放送大学ウェブサイトの「重要なお知らせ」をご覧ください。

学生の種類	授業料（1単位あたり）		研究指導料（1年間あたり）	
	改定前	改定後	改定前	改定後
教養学部	5,500円	6,000円		
大学院修士課程	11,000円	12,000円	88,000円	96,000円※1
大学院博士後期課程	44,000円	48,000円	352,000円	384,000円※2

※1 2023年度以前に修士全科生として入学した方は、入学時にすでに2年間（4学期間）分の研究指導料をお支払いいただいています。この場合は、研究指導料の追加の支払いは特に必要ありません。ただし、2年間（4学期間）で研究指導に合格できなかった方が、2024年度に新たに研究指導を科目登録する場合には、改定後の研究指導料が適用されます。

※2 2023年度以前に博士全科生として入学した方の2024年度分の研究指導料は、改定前の研究指導料が適用されます。ただし、3年間（6学期間）で研究指導に合格できなかった方が2024年度に新たに研究指導を科目登録する場合には、改定後の研究指導料が適用されます。

## 教養学部全科履修生の卒業要件改正について

教養学部全科履修生の卒業要件（授業形態に係る要件）が2024年度第1学期から変わります。

授業形態	修得すべき最低単位数 (計124単位)	授業形態を問わない単位数
		放送授業
面接授業またはオンライン授業	20単位	

○従来に比べ、放送授業・面接授業・オンライン授業のいずれでも修得できる単位数が20単位増え、より自由に科目を選択できるようになります。

○2023年度第2学期以前から全科履修生に在籍中の方（2023年度第2学期末に学籍が切れる方を除く）も、カリキュラム移行の手続きを行うことで、新卒業要件の適用を受けることができます。

卒業要件のうち「科目区分に係る要件」については変更ありません。詳細は「学生生活の栞（2023年度版）」P42～45の「①科目区分に係る要件」をご覧ください。

# パソコンを使う面接授業についてのお知らせ

パソコンを使用する面接授業は、これまで学習センターの学生用パソコンを使用して実施してきました。しかし、2024年度第1学期以降、パソコンを使用する面接授業は、**受講者ご自身にパソコン等を持参して受講していただく方式**（BYOD：Bring Your Own Device）に変更となります。

2024年度第1学期に受講者がパソコン等を持参して受講する面接授業の受講に必要なパソコン等端末の種類（パソコン、タブレット等）やソフトウェア（ウインドウズやオフィス等）は科目ごとに異なります。2024年1月上旬に公開予定のシラバスで必ずこれらを確認し科目登録申請を行ってください。

※図書・再視聴室の放送授業視聴用の端末（Chromebook）は2024年度以降もご使用いただけます。



必ずシラバスの内容を  
確認してね！

## 大学院修士全科生のスケジュール

- 修士論文スケジュール（修士全科生共通）  
審査期間（口頭試問を含む）＜2年次＞ 1月上旬～下旬
- 授業スケジュール（臨床心理学プログラム以外）  
研究レポートⅡ 提出期限＜1年次＞ 2月16日（金）
- 授業スケジュール（臨床心理学プログラム）  
臨床心理基礎実習（3）＜1年次＞ 2月 7日（水）～11日（日）

## 警報発表時等の臨時閉所について （和歌山学習センターの取り扱い）

「和歌山市」に「暴風警報」か「大雨特別警報」が発表された場合、および地震・停電等の発生によりセンター業務を正常に行えない場合には「臨時閉所」いたします。

※「大雨警報」の場合は開所いたしますので、ご注意ください。

※面接授業・単位認定試験は、取扱いが異なります。

臨時の情報は、その都度和歌山学習センターの発表をご確認ください。

◆和歌山学習センターウェブサイト（トップページ「お知らせ」欄）

◆システムWAKABA（⇒キャンパスライフ⇒学内連絡⇒「学習センターから」タブ）

### 通常期間に警報が解除された場合

警報解除の時刻	閉所の措置	備考
12時まで	解除より2時間後に開所します。	図書・再視聴室も同様です。
12時以降	終日閉所します。	

# Web単位認定試験について

(学部・大学院)

2023年度第2学期の単位認定試験もWeb試験にて実施します。

(一部科目は郵送受験方式)

<b>試験期間</b>	Web試験 (試験期間) 2024年1月16日 (火) 9時～1月24日 (水) 17時 郵送試験 (提出期間) 2024年1月16日 (火) ～1月24日 (水) «必着»
<b>Web試験の 実施方法概要</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>①試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験可能です。</li><li>②1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)</li><li>③出題形式には「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載されています。</li><li>④制限時間以内に「択一式」は選択肢をクリック、「記述式」は解答記入欄に文字入力することで解答します。</li></ul>
<b>郵送試験を実施 する科目について (3科目のみ)</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>①「正多面体と素数(21)」、「日本美術史の近代とその外部(18)」、「量子化学(19)」のみ郵送試験で実施します。</li><li>②1月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて郵送で解答を提出します。</li><li>③試験時間の制限はありません。</li></ul>
<b>注意事項</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>①Web単位認定試験体験版を操作されていない方は、端末等の動作保証ができないため、受験に使う予定のパソコン・スマートフォン・タブレット等で必ず体験版を操作し、解答提出が可能か確認してください。 ☆体験版は何度でも解答提出できますが、本番の単位認定試験は一回のみの提出となります。</li><li>②パスワードを忘れてしまった場合など、システムWAKABAにログインできない方は和歌山学習センター(TEL:073-431-0360)までご連絡ください。</li></ul>
<b>その他</b>	和歌山学習センターでは試験期間中の特別な開所時間を設けません。 現行どおり(10時～18時)です。 ☆学習センターでの受験者についてはこの限りではありません。
<b>各種発送時期</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>①通信指導添削結果の返送：2023年12月末～2024年1月上旬 ☆択一式科目(併用式科目の択一部分)は1月5日(金)までに、記述式科目(併用式科目の記述部分)は1月12日(金)までに届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111)に連絡してください。</li><li>②受験票(単位認定試験通知)：2024年1月上旬 発送予定 ・「試験会場(試験室名)」に「自宅受験」と記載されている科目は、受験資格があります。 ☆1月9日(火)までに届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111)に連絡してください。</li><li>③郵送受験方式の科目のみ 問題用紙・解答用紙・提出用封筒 ：2024年1月上旬 発送予定</li><li>④成績通知書：2024年2月下旬 発送予定 システムWAKABA「教務情報→履修成績照会」でも確認することができます。</li></ul>

# Web単位認定試験 体験版 操作方法

## ● Web単位認定試験体験版 アクセス方法

システムWAKABAのTOP画面右側、「学内リンク」から、「Web単位認定試験」をクリックしてWeb単位認定試験システムにアクセスしてください。

ログインID・パスワード（システムWAKABAと共通）の入力が必要です。

## ● Web単位認定試験体験版 操作の流れ

### ①科目選択

- ・「科目一覧」から、「Web単位認定試験体験版」をクリックします。
- ・学期初回のみ「私を受講登録する」をクリックします。

### ②受験開始

- ・「単位認定試験【択一式】」「単位認定試験【記述式】」「単位認定試験【併用式】」から、練習したい出題形式のものをクリックします。
- ・注意事項を確認の上、「受験を開始する」をクリックして受験を開始します。

\* 受験を開始すると、制限時間のカウントダウンが始まります。  
(制限時間のカウントダウンは止まりません。)

### ③解答作成

#### 択一式問題

問題文と選択肢がセットで表示され、選択肢をクリックすることで解答を作成します。

#### 記述式問題

問題文と解答記入欄がセットで表示され、解答記入欄に文字入力することで解答を作成します。

### ④保存・確認

- ・解答作成が終わったら、「解答を保存して確認画面へ進む」をクリックして解答内容を保存し、確認画面で解答状態を確認します。  
\* 「解答を保存する」または「解答を保存して確認画面へ進む」を押さずに受験画面を離れると、それまでの解答内容が失われますのでご注意ください。
- ・解答を修正する場合は、「受験画面に戻る」をクリックして受験画面に戻ります。

### ⑤解答提出

- ・確認画面で解答状態を確認し、問題がなければ、「解答を送信して受験を終了する」ボタンをクリックし、解答を提出します。  
\* 体験版は何度でも解答を提出できますが、本番の単位認定試験は一度しか解答を提出できませんのでご注意ください。

※詳細な操作方は、Web単位認定試験システム体験版画面左側「操作ガイド（必読）」から内容をご確認ください。

## ● 推奨環境

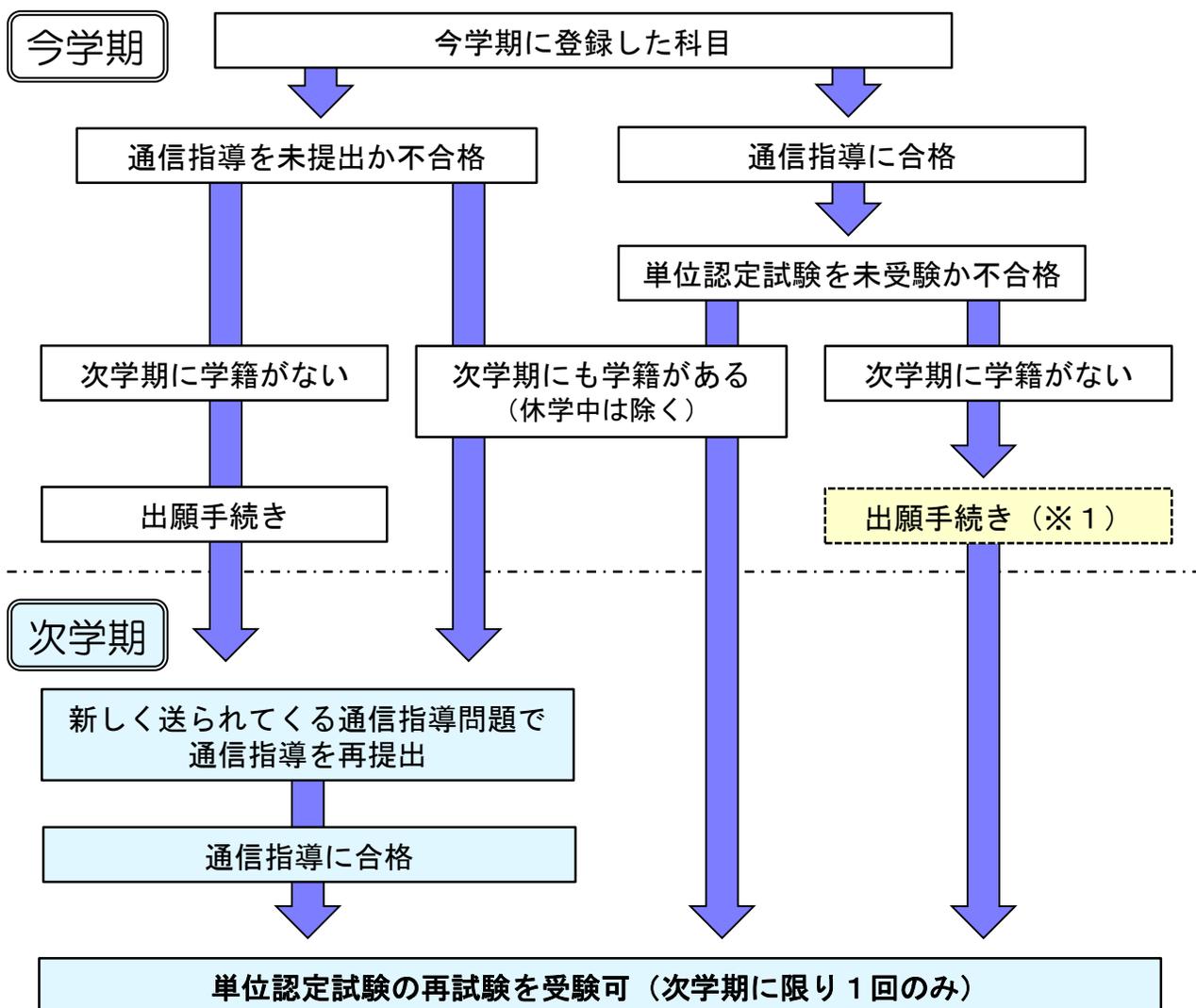
《パソコンの推奨環境》【OS】Windows11、Windows10、macOS（最新から2バージョン前まで）  
【ブラウザ】Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari  
※モバイル端末（タブレットやスマートフォン）も基本的にはご利用可能ですが、文字の大きさやレイアウトが機種によって異なるため、必ず受験予定の端末で体験版を操作し、解答提出が可能かどうかをご確認ください。

# 再試験について（登録科目の単位を修得する必要がある方へ）

「学生生活の葉」〔学部〕P71〔大学院〕P73

今学期に新規に登録した放送授業科目の単位を修得できなかった場合、次学期に学籍がある場合（休学中を除く）に限り、再試験を受けることができます。

再試験科目については、あらためて科目登録をする必要がなく、授業料もかかりません。



## ※1 <単位認定試験を受験した方が再試験のために出願する場合>

☆新規登録科目なしの場合…試験結果が合格の場合、出願は無効となります。  
不合格の場合、入学料のみ必要となります。

☆新規登録科目ありの場合…試験結果が合格の場合、新規登録科目のみが登録されます。

## ★再試験制度は1回のみです。

再試験で不合格の場合は、科目登録（または、再出願）が必要です。

（授業料が必要です。また通信指導も再度提出しなければなりません。）

科目登録申請期間・出願期間中にそれぞれ手続きを行ってください。

★単位認定試験の結果を見てからの科目登録・出願も可能です。ただし、試験結果の送付が申請期限間際となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

# 2024年度第1学期 科目登録・継続入学等のご案内

科目登録：「学生生活の葉」[学部] P55～58 [大学院] P56～62  
継続入学：「学生生活の葉」[学部] P91～93 [大学院] P90

次学期に学籍がある方

「科目登録申請」手続きを行ってください。

科目登録申請には、次の方法があります。いずれかの方法で手続きを行ってください。

## ① 「システムWAKABA」による方法：

インターネット上での申請方法です。申請期間中に科目登録を行ってください。

## ② 「科目登録申請票」による方法：

大学本部から送付される「科目登録申請要項」に添付されています。  
必要事項を記入し、申請期間中に大学本部に郵送してください。

★①と②の重複申請はできません。

## 2024年度第1学期「科目登録申請要項」：1月中旬発送予定

★「放送授業」・「オンライン授業」・「面接授業」の科目登録ができます。

\*2月5日（月）までに届かない場合は 大学本部（総合受付）に連絡してください。

【科目登録申請期間】\*申請方法により提出期限が異なりますので、ご注意ください。

- ・「システムWAKABA」による申請期間【インターネット】  
2月13日（火）9時～2月29日（木）24時
- ・「科目登録申請票」による申請期間【郵送】  
2月13日（火）～2月28日（水）本部必着

次学期に学籍がなく、継続して学習を続けたい方

「出願（継続入学）」手続きを行ってください。

出願（継続入学）には次の方法があります。いずれかの方法で手続きを行ってください。

## ① インターネットによる方法：申請期間中に手続きを行ってください。

- ◆ 放送大学ウェブサイトのインターネット出願ページから出願できます。
- ◆ システムWAKABA上で継続入学申請ができます。  
(大学本部から案内が送付されます。)

## ② 郵送による方法：必要事項を記入し、期間中に大学本部に郵送してください。

- ◆ 「学生募集要項」に添付されている「出願票」で出願できます。  
(学習センター等で配布しています。)

※2024年度第1学期分からの学期満了者向け送付物（本部より）は  
「継続のご案内」プリントのみとなっています。

募集要項が必要な方は学習センターまでお知らせください。

★①と②の重複申請はできません。

## 2024年度第1学期「学生募集要項」：11月26日（日）配布開始

★継続入学される方で、面接授業の登録申請を行いたい方は、必ず上記の「科目登録申請期間」内に、システムWAKABAを通して出願する必要があります。

【出願期間】

- ・インターネットによる申請期間  
11月26日（日）～3月12日（火）17時まで
- ・「出願票」等による申請期間【郵送】  
11月26日（日）～3月12日（火）本部必着

出願票に写真を未添付の場合、学生証の写真は以前提出された写真となります。  
写真を変更したい場合は、出願手続きの際に行ってください。後日『写真票』を郵送されたり、後日システムWAKABAを利用してご自身で差し替えた写真は、次回の学生証更新時に利用されます。  
詳しくは和歌山学習センターまでお問い合わせください。



# 2024年度第1学期 面接授業のご案内

科目登録申請後の追加・変更はできませんので、慎重に科目選択を行ってください。

また、定員を上回る申請があった科目については、抽選による選考を行います。

申請科目すべてが受講できるとは限りませんので、ご注意ください。

和歌山学習センターで開設する面接授業科目は下記のとおりです。

授業内容等は、「面接授業時間割表[近畿ブロック版]」（大学本部送付）か放送大学ウェブサイトをご覧ください。



科目区分	科目名・担当講師	開設日	定員
基盤科目	「高野山学入門」 櫻木 潤 外2名 (高野山大学文学部・准教授 外)	6月 1日(土) 各自で宿泊手配 6月 2日(日) ★2日間とも伊都郡高野町で行います。	20
基盤科目	「ドイツ・リート「魔王」」 兵頭 俊樹 (元和歌山大学クロスカル教育機構・准教授/ 放送大学和歌山学習センター・客員准教授)	5月11日(土) 1～4時限 5月12日(日) 1～4時限	20
外国語	「日本語教育を学ぶ」 長友 文子 (和歌山大学国際イニシアティブ基幹 日本学教育研究センター・教授)	6月 1日(土) 1～4時限 6月 2日(日) 1～4時限	30
専門科目	「病と共に生きる」 辻 あさみ (和歌山県立医科大学保健看護学部・教授/ 放送大学和歌山学習センター・客員教授)	4月20日(土) 1～4時限 4月21日(日) 1～4時限	20
生活と福祉	「法定相続と遺言」 吉田 雅章 (元和歌山大学経済学部・教授)	6月22日(土) 1～4時限 6月23日(日) 1～4時限	30
専門科目	「地域と子育て支援」 森下 順子 (和歌山信愛大学教育学部・教授/ 放送大学和歌山学習センター・客員教授)	5月11日(土) 1～4時限 5月12日(日) 1～4時限	20
専門科目	「臨床心理学を通じた実際の関わり」 石橋 玄 (ひだか病院・公認心理師 臨床心理士)	5月18日(土) 1～4時限 5月19日(日) 1～4時限	30
心理と教育	「心理学実験3」 則定 百合子 (和歌山大学教育学部・准教授)	5月25日(土) 1～4時限 5月26日(日) 1～4時限	20
心理と教育	「心理検査法基礎実習」 伴 碧 (大阪大学大学院基礎工学研究科・特任講師)	6月29日(土) 1～4時限 6月30日(日) 1～4時限	20
心理と教育	「子ども成育医療学」 柳川 敏彦 (和歌山県立医科大学・名誉教授)	7月 6日(土) 1～4時限 7月 7日(日) 1～4時限	20

科目区分	科目名・担当講師	開設日	定員
専門科目 社会と産業	「微生物学から見た清酒造り」 池本 重明 外1名 (和歌山県酒造組合連合会・技術顧問 外)	4月27日(土) 1~4時限 4月28日(日) 1~4時限	30
	「和歌山(関西)の歴史的建築」 高砂 正弘 (和歌山大学・名誉教授)	6月 6日(木) 1~4時限 6月 7日(金) 1~4時限 ★1日目の一部は和歌山県庁、2日目は綿業会館、大阪倶楽部(大阪市)で行います。	20
	「観光のマネジメント」 竹林 浩志 (和歌山大学観光学部・教授/ 放送大学和歌山学習センター・客員教授)	6月 8日(土) 1~4時限 6月 9日(日) 1~4時限	30
	「手を動かして学ぶ広告デザイン」 原田 利宣 (和歌山大学システム工学部・教授/ 放送大学和歌山学習センター・客員教授)	6月15日(土) 1~4時限 6月16日(日) 1~4時限 ★自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。	20
専門科目 人間と文化	「近代の和歌の浦を歩いて・みる」 島津 俊之 (和歌山大学教育学部・教授)	5月18日(土) 1~4時限 5月19日(日) 1~4時限 ★2日目の一部は和歌の浦周辺で行います。	20
専門科目 情報	「Pythonで人工知能を体験」 吉野 孝 (和歌山大学システム工学部・教授)	6月22日(土) 1~4時限 6月23日(日) 1~4時限 ★自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。	20
	「エンタテインメント情報学」 倉本 到 (福知山公立大学情報学部・教授)	7月 6日(土) 1~4時限 7月 7日(日) 1~4時限	30
	「ゲームシステムデザイン入門」 中西 英之 (近畿大学情報学部・教授)	7月13日(土) 1~4時限 7月14日(日) 1~4時限	20
専門科目 自然と環境	「水を科学する」 江種 伸之 (和歌山大学システム工学部・教授)	4月20日(土) 1~4時限 4月21日(日) 1~4時限	20

- 「教科書」指定の有無を前もってシラバス(授業概要)で確認し、各自で書店や出版社から直接購入するなどして、授業当日に必ず持参してください。取り寄せに時間がかかる場合もありますので、ご注意ください。  
なお、和歌山学習センターでは「教科書」の販売・貸出はしておりません。

和歌山の時間割	1時限	10:00~11:30	面接授業とは?	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全科履修生が卒業するためには、面接授業かオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。卒業を目指している方以外は、必修ではありません。</li> <li>●1科目につき1単位です。</li> <li>●2日間で計8回の授業(90分×7回、45分×1回)を行い、原則としてレポートか試験等が課されます。</li> </ul>
	2時限	11:40~13:10		
	昼休憩			
	3時限	14:00~15:30		
	4時限	15:40~17:10		

和歌山学習センター客員教員による  
2023年度第2学期 **学習相談のご案内**

客員教員名	専門分野	実施曜日・時間
兵頭 俊樹 元和歌山大学クロスカル教育機構・准教授	ドイツ語学・文学 ヨーロッパ言語文化	第2・4 火曜日 14:30~16:30
竹林 浩志 和歌山大学観光学部・教授	経営学 組織論	第1・3 水曜日 10:00~12:00
木村 憲喜 和歌山大学大学院教育学研究科・教授	化学 理科教育	水曜日 14:00~16:00
森下 順子 和歌山信愛大学教育学部・教授	発達心理学 保育・幼児教育 子育て支援	第2・4 木曜日 10:00~12:00
原田 利宣 和歌山大学システム工学部・教授	デザイン工学 感性工学 ※1	第1・3 木曜日 10:00~12:00
満田 成紀 和歌山大学戦略情報室・教授	ソフトウェア工学 ※1	【1月のみ】第2・4土曜日 【2月・3月】毎週土曜日 いずれも10:00~12:00
辻 あさみ 和歌山県立医科大学保健看護学部・教授	成人看護学	第1・3 土曜日 10:00~12:00
宗森 純 放送大学和歌山学習センター・所長	情報工学	随時（出勤日）

※1 ソフトウェア（Word,Excel,PowerPoint）、インターネット、Windowsなどについての質問も可

学習相談とは？

所長の宗森および客員教員が学習上の種々の相談に応じています。  
相談を希望する学生は、事務室に備え付けている『学習相談票』に  
相談内容を記入し、相談希望日1週間前までに事務室に申し込んで  
ください。

後日、相談日を通知します。（※『学習相談票』はFAX送信可）

予約制です!



# 客員教員による『学習会』のご案内

## 「学習会」とは？

和歌山学習センターの客員教員が、毎回それぞれのテーマに沿って講義をします。無料で各先生の専門分野に関する面白い講義が受けられる機会です。参加希望の方は、学習会当日、直接和歌山学習センターまでお越しください。是非、お気軽にご参加ください！  
※事前申込みは、特に記載がない限り不要です。※単位認定はありません。

講師	日時	講義内容
<p><b>兵頭 俊樹</b></p> <p>元和歌山大学 クロスカル教育機構 ・准教授</p> <p>専門:ドイツ語学・文学 ヨーロッパ言語 文化</p>	<p>月2回 火曜日 (1月のみ1回)</p> <p>右記の日程で 実施予定</p> <p>15時00分～ 16時30分</p>	<p><b>『歴史で学ぶ英語』</b></p> <p>邦訳が出ているエルンスト・ゴンブリッチ『若い読者のための世界史』(中公文庫)とユヴァル・ノア・ハラリ『サピエンス全史』(河出書房新社)の英訳を、構文の理解に重点を置きながら少しずつ読み進んでいきます。</p> <p>読んでいる箇所は7月時点で、前者は16章「よろこばしい知らせ The Good News」でローマ帝国におけるキリスト教の成立と発展、後者は11章「グローバル化を進める帝国のビジョン Imperial Visions」で様々な歴史上の帝国に共通する特徴を述べている箇所。</p> <p>それぞれ毎回10数行程度読み進めます。</p> <p><b>【実施日程】</b> 1月9日、2月13日、2月27日、3月12日、3月26日</p>
<p><b>木村 憲喜</b></p> <p>和歌山大学大学院 教育学研究科・教授</p> <p>専門:化学 理科教育</p>	<p>1月31日(水)</p> <p>14時00分～ 16時00分</p>	<p><b>『化学薬品の事故について』</b></p> <p>私たちの身のまわりでさまざまな化学薬品が問題になっています。そして化学薬品による事故もよく見受けられます。さらに、学校現場でも化学薬品による事故が毎年起こっています。</p> <p>このような化学薬品による事故はどうして起こるのかを考えてみたいと思います。</p>
	<p>原則として 月1回 水曜日</p> <p>14時00分～ 16時00分</p> <p>※実施日は月毎 に掲示をご覧になる か、事務室へお 問合せください。</p>	<p><b>『学生自主ゼミナール』</b></p> <p>月に1回のペースで行っています。</p> <p>報告者は、“和歌山学習センター所属の学生”。</p> <p>各回毎に、担当学生がテーマを決めて発表し、互いに学習を深めます。</p> <p>事前の申し込みは不要です。是非お気軽にご参加ください!</p>

講師	日時	講義内容
<p>満田 成紀</p> <p>和歌山大学 戦略情報室・教授</p> <p>専門:ソフトウェア工学</p>	<p>月1回</p> <p>右記の日程で 実施予定</p> <p>10時00分～ 12時00分</p>	<p>『パソコン・スマホDojo』</p> <p>パソコンやスマートフォンを使っていて、「もっとこんな使い方がしてみたい」と思うことはありませんか？ そんなあなたに、ちょっとしたアドバイスと一緒にチャレンジする機会を提供するのが「Dojo(道場)」です。</p> <p>「写真の編集がしたい」「ビデオ通話ってどうやるの?」など、みなさん自身のやってみたいことや悩みについて、教員がメンター(お助け人)となって取り組みます。すぐにはできないかもしれませんが、ゆっくり少しずつ学んでいきましょう。</p> <p>※自分のノートPCやスマートフォンを持ってきてください。 学習センターのノートPCを利用することもできます。</p> <p>【実施日程】 1月27日(土)、2月24日(土)、3月16日(土)</p>
<p>辻 あさみ</p> <p>和歌山県立医科大学 保健看護学部・教授</p> <p>専門:成人看護学</p>	<p>1月27日(土)</p> <p>13時30分～ 15時00分</p>	<p>『自分の健康を維持するためのセルフケアについて考えてみましょう ～オレムのセルフケア理論を参考に～』</p> <p>看護学において、人が生きていくなかで、病気を予防し健康を維持すること、病気になった場合には日常生活行動とのバランスを取りながら病気の管理に必要な活動を実践することなど、さまざまな自らの健康を守るための活動を「セルフケア」と表現しています。近年、高齢化に伴い心疾患や高血圧、糖尿病、がんなどに代表される慢性疾患を有する患者の数は増加傾向にあります。人は病に罹ったとき、健康を取り戻すために自分で自分の健康が管理できるためのセルフケア能力が必要になります。</p> <p>そこで、看護学で学ぶオレムのセルフケア理論を基に、看護師が行っているセルフケア支援を紹介し、皆さんと一緒に健康を守るためのセルフケアについて考えてみたいと思います。</p>

■参加者は放送大学の学生といたします。

■不測の事態発生時には、実施を延期したり取りやめたりする場合があります。  
その際には、和歌山学習センターウェブサイトに掲載するとともに、和歌山学習センター内に掲示いたします。

# システムWAKABAでできること ～特に学期後半に便利な機能をご紹介します～

まもなく、単位認定試験が始まります。その後は、成績発表に次学期の科目登録など、一大イベントが目白押し。システムWAKABAを最大限に活用して、試験を乗り切りスムーズに次学期を迎えましょう。

- ✓ 単位認定試験の過去の問題・解答を見たい！ ⇒①
- ✓ 成績評価の結果は・・・ ⇒②
- ✓ 次学期の科目登録・継続入学申請をシステムWAKABAでしたい！ ⇒③



🎓 **キャンパスライフ**

- ▶ 学生カルテ
  - > 学生カルテ
- ▶ 変更・異動手続
  - > 変更・異動手続
- ▶ 履修成績照会
  - > 履修成績照会 ←②
- ▶ 単位認定試験時間割
  - > 単位認定試験時間割照会 (学生用)
- ▶ 出願・科目登録申請
  - > 科目登録申請
  - > 継続入学申請 ←③
  - > 出願申請進行状況確認
- ▶ シラバス検索
  - > シラバス参照
- ▶ 自己判定 (シミュレート)
  - > 所属コース (専攻) 変更・カリキュラム移行シミュレーション
- ▶ 資格取得判定
  - > 科目群履修認証制度自己判定
- ▶ 資格取得申請書
  - > 科目群履修認証状申請書出力

📖 **授業サポート**

📄 **教務情報**

②と③は、教務情報に！  
他にも科目選びの参考になる機能や手続きに便利な機能がたくさんあります。いろいろ開いてみてください。

🎓 **学内リンク**

- ▶ Web通信指導
- ▶ Web単位認定試験
- ▶ オンライン授業
- ▶ 放送授業のインターネット配信
- ▶ 過去の単位認定試験問題・解答等 ←①
- ▶ 面接授業 (第1学期) のページ
- ▶ 面接授業 (第2学期) のページ
- ▶ 新規開設科目印刷教材 (試し読み)
- ▶ 放送大学自己学習サイト
- ▶ 看護師国家試験学習支援ツール
- ▶ 修士論文閲覧
- ▶ 放送大学附属図書館
- ▶ 学習センター一覧
- ▶ ライブWeb授業
- ▶ 放送大学トップページ

# 「学生証」について

「学生生活の栞」[学 部] P18~19  
[大学院] P24~28

学生証の交付を所属学習センターで行っています。(大学本部からは送付されません。)

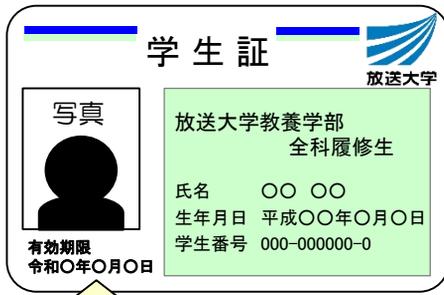
## 対象者

- ・今学期入学者のうち学生証の受け取りがまだの方
- ・有効期限切れの学生証をお持ちで新しい学生証の受け取りがまだの方

## 学生証の交付に必要なもの

入学許可書(新規入学者)または期限切れの学生証(在籍者)

【注意】出願・科目登録時に写真票を提出していない方は、①システムWAKABAで直接登録、または②顔写真を大学本部入学・履修係に郵送してください。②の場合、学生証の発行に約3週間かかります。



期限が切れていないか  
確認してください!

- ・学習センター等を利用する場合は、必ず携行してください。
- ・学生証には有効期限があります。

### 【学部・大学院とも】

全科履修生：2年間 / 選科履修生：1年間 / 科目履修生：半年間

※更新の際は写真の提出は不要です。

- ・学生証の紛失や氏名変更した場合の再発行も、学習センターで行います。手数料500円を持参し、学習センター事務室で手続きを行ってください。

# 各種変更手続きについて

「学生生活の栞」[学 部] P20~21、P82~90  
[大学院] P29~30、P80~89

※様式(紙)は「学生生活の栞」の巻末、「システムWAKABA(キャパ スライフ⇒各種届出・申請様式)」にあります。

変更内容	提出期限		提出先(様式で提出する場合)			備考	
	様式(紙) ※本部必着	システム WAKABA	教養学部生	修士選科生 修士科目生	修士全科生 博士全科生		
住所等の変更	在学中随時 (変更後速やかに)		和歌山学習 センター	本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院研究指導係		
氏名等の変更	在学中随時 (変更後速やかに)		本部学生課	入学・履修係	本部教務課 大学院研究指導係	あわせて“学生証の再発行手続き”も行ってください。 (手数料：500円)	
(学部) 所属コース変更願 カリキュラム移行届	2024年度第1学期から変更 10月20日~12月7日		本部学生課 入学・履修係	—	—	以下はできません。 ・学期を遡っての変更 ・学期途中からの変更 ・卒業研究履修中の変更	
(修士全科生) 所属プログラム 変更願	第1年次の 12月末まで	—	—	—	本部教務課 大学院研究指導係	※「所属プログラム変更願」を教務課へ請求してください。 詳細は「学生生活の栞(大学院)」P.82参照	
所属学習センター 変更願	2024年度第1学期から変更 10月20日~2月8日		本部学生課	入学・履修係	本部教務課 大学院研究指導係	以下はできません。 ・学期を遡っての変更 ・学期途中からの変更	
休学・復学届	2024年度第1学期から変更 10月20日~ 3月25日		10月20日~ 3月31日	本部学生課	入学・履修係	本部教務課 大学院研究指導係	休学期間(通算) ・全科履修生：4年間 ・選科履修生：1年間 ・修士全科生：2年間 ・博士全科生：3年間

## 諸証明書の発行手続き

各種証明書が必要な場合「諸証明書交付願」を提出してください（手数料は1通につき200円）。  
 なお、証明書の発行に2週間程度かかるものや、事務処理上発行できない期間がありますので、必要な方は早めに提出してください。

提出先：和歌山学習センター

☑ 郵便での申請方法 ☑

来所されない場合は、下記4点を和歌山学習センターまで郵送してください。

- ① 手数料分の郵便定額小為替証書（1通につき200円）
- ② 諸証明書交付願（様式：『学生生活の菜』巻末、  
 もしくは「システムWAKABA（キャンパスライク⇒各種届出・申請様式）」からダウンロード）
- ③ 返信用封筒《宛名明記》（証明書1~2通：長形3号、3通以上：角型2号）
- ④ 返信用切手（証明書1通：84円、2通：94円、3通以上：140円）

## 学割証の発行手続き

全科履修生・修士全科生・博士全科生が、授業の視聴や面接授業、単位認定試験、卒業研究、研究指導等のために通学する場合等に発行します。

和歌山学習センターでは、JRと和歌山電鐵について適用でき、

『一般普通回数乗車券（JR・和歌山電鐵）』および

『学生割引普通乗車券（片道区間100km以上・JRのみ）』（2割引）を購入できます。

学割証が必要な方は、事務室備え付けの「学割証発行願」を提出してください。

提出先：和歌山学習センター

☑ 郵便での申請方法 ☑ ※使用日の10日前までに必着！

来所されない場合は、下記2点を和歌山学習センターまで郵送してください。

- ① 学割証発行願（システムWAKABA（キャンパスライク⇒各種届出・申請様式）からダウンロード）
- ② 返信用封筒（長形3号に84円切手貼付・宛名明記）

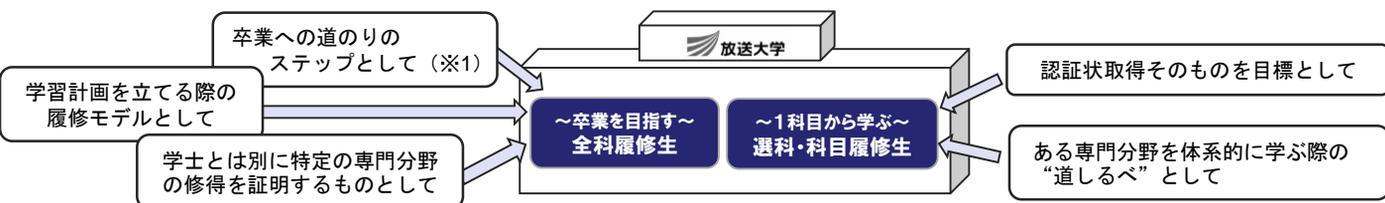
※ 卒業研究、研究指導およびゼミ出席の場合は、指導教員から指示のあったことを示すもの（用務内容、場所、期間、指導教員が指示（許可）したことが確認できるもの）も同封（持参）ください。

# 科目群履修認証制度 放送大学 エキスパート をご存知ですか？

「学生生活の菜」[学 部] P102

この制度は、教養学部の全科履修生・選科履修生(\*)・科目履修生(\*)を対象とした放送大学独自の認証制度です。（\* 本学全科履修生への入学資格（高校卒業等）を満たしている必要があります。）

放送大学が指定する特定の授業科目群を履修することで、ある分野に目的・関心を持ち、そのための学習を体系的に行ったことを証明します。履歴書への記載や、職場やボランティア活動時に活用いただくなど、それぞれの目的に合わせ、広く学習や生活の場でお役立てください。



### 『放送大学 エキスパート』で認証状を取得するまで

詳細は放送大学本部より送付されている冊子『科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）について』（今年度版）もしくは学習センター事務室で配布しているパンフレット等をご覧ください。  
 ※1 認証状取得のために修得した単位は、卒業要件に必要な単位としてカウントされます。

### ① 入学

全科履修生、選科履修生または科目履修生として入学

### ② 単位修得

目標とするプランを決め、必修科目、選択必修科目の条件を満たしながら所定の単位を修得！

### ③ 認証状申請

必要な単位をすべて修得したら、認証状を申請しましょう！

# きのくに作品展を開催しました

毎年、ご好評をいただいております「きのくに作品展」を今年度も、11月2日（木）～11月16日（木）の2週間、ロビーにおいて開催いたしました。  
絵画や写真などを出品していただき、来館された方々に楽しんでいただくことができました。  
来年度も開催したいと考えていますので、皆さまのご参加をお待ちしています。



# 連携公開講座を開催しました

和歌山県立図書館との連携公開講座を2019年以来4年ぶりに10月、11月、12月の3回にわたって開催しました。

第10回目の連携公開講座はコンピューターゲームの「これまで・いま・これから」をテーマとした講座で、ゲームの歴史や面白さのしくみ等を学んでいただくことができました。  
来年度もテーマを変えて開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしています。



## 放送大学 和歌山学習センター

〒641-0051  
和歌山県和歌山市西高松1丁目7-20(和歌山大学松下会館内)  
Tel. 073-431-0360 Fax. 073-431-0311  
E-mail wakayama-sc@ouj.ac.jp  
ウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/wakayama/>

(★注意) 和歌山大学(和歌山市栄谷)とは全く別の場所  
にあります。和歌山県立図書館の東隣です。

### 【開所曜日・時間】

火曜～日曜 10:00～18:00

閉所日: 月曜・祝休日、12/28～1/3



# 1月～3月の和歌山学習センタースケジュール



## 1月

1	月	閉所日 (元日)
2	火	閉所日 (年末年始)
3	水	閉所日 (年末年始)
4	木	
5	金	
6	土	面接授業 「心理学実験 2」
7	日	
8	月	閉所日 (成人の日)
9	火	学習会：兵頭先生
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	閉所日
16	火	単位認定試験期間
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	閉所日
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	学習会：満田先生 学習会：辻先生
28	日	
29	月	閉所日
30	火	
31	水	学習会：木村先生

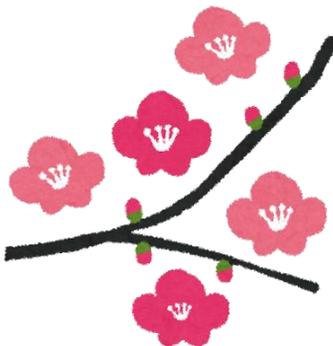
## 2月

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	閉所日
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	閉所日 (建国記念の日)
12	月	閉所日 (振替休日)
13	火	学習会：兵頭先生 2024年度第1学期科目登録申請 受付開始
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	閉所日
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	閉所日 (天皇誕生日)
24	土	学習会：満田先生
25	日	
26	月	閉所日
27	火	学習会：兵頭先生
28	水	2024年度第1学期科目登録郵送申請 受付締切 (必着)
29	木	2024年度第1学期科目登録Web申請 受付締切 2024年度第1学期第1回出願受付締切 (郵送必着/Web24:00) (学部・修士選科・修士科目)



## 3月

1	金	2024年度第1学期第2回出願 受付開始 (学部・修士選科・修士科目) -3月12日まで-
2	土	
3	日	
4	月	閉所日
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	閉所日 学習会：兵頭先生
12	火	2024年度第1学期第2回出願 受付締切 (郵送必着/Web17:00) (学部・修士選科・修士科目)
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	学習会：満田先生
17	日	
18	月	閉所日
19	火	
20	水	閉所日 (春分の日)
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	2023年度第2学期学位記授与式 2024年度第1学期入学者の集い
25	月	閉所日
26	火	学習会：兵頭先生
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	



スケジュール等は予定で作成  
していますので、直前に送付され  
る案内、冊子等で必ず日時を確  
認してください。

満田先生の

# BYOD講習会

※ BYOD (Bring Your Own Device) とは、面接授業で受講者がパソコン等を持参して受講する方式のことです。

- 日時 : 2024年3月9日(土)  
10:00 ~ 12:00
- 場所 : 和歌山学習センター講義室
- 対象 : 放送大学在学学生
- 講師 : 満田 成紀 先生  
(和歌山学習センター客員教授)
- 準備物 : 面接授業で使用する予定の  
ノートPC、タブレット等

2024年度第1学期以降、パソコンを使う面接授業は受講者自身のパソコン等を持参して受講することになりました。そこで、授業直前になって慌てないように準備しておくための講習会を開催します。

受講に必要なパソコン等端末の種類やソフトウェア、インターネット利用の有無は科目ごとに異なりますが、パソコンを使う面接授業(他の学習センターで開講される科目も含む)の多くで共通する内容を予定しています。

## 【講習内容】

- ◇ 学習センター提供無線LANの利用方法について
  - 情報セキュリティ研修の受講&小テスト
  - 無線LAN利用申請書の作成
- ◇ マイクロソフト Office の購入について
  - 永続版とサブスクリプション版
  - 4月以降に学割購入する方法